

放送大学奈良学習センター リカレント連続講演会 「名作をジェンダーの視点で読み直す」

第5回 エミリー・ブロンテ 『嵐が丘』

講師：市川千恵子氏

(奈良女子大学文学部教授)

日時 2026年2月7日(土) 14時30分から16時30分

会場 放送大学奈良学習センターZ308講義室

※地図は裏面に掲載しています

エミリー・ブロンテの『嵐が丘』(1847)は、世界の十大小説に選ばれるほど傑作として揺るぎない地位を占める作品です。作者は複数の語りの枠を採用し、壮大なドラマを展開します。その主軸は一人の男が二世代にわたって二つの家族に復讐をはかる物語ですが、今回はその男によって翻弄される女性たちに注目します。特に第二世代の物語を読み解くことで、愛と憎しみの連鎖が男女の規範と無関係ではない様相をみていきます。



エミリー・ブロンテ (肖像画)



ブロンテ姉妹が暮らし、執筆活動を行った牧師館 (現在は博物館)

奈良学習センターウェブサイトまたは右のQRコードからお申し込み下さい
難しい場合は電話でお申し込み下さい。**定員60名で先着順**に受付けます。

主催 放送大学奈良学習センター (Tel: 0742-20-7870)

共催 奈良女子大学文学部言語文化学科「ジェンダー言語文化学プロジェクト」
奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター

参加費無料 申込先着順



講師紹介 市川 千恵子(いちかわ ちえこ)

奈良女子大学文学部言語文化学科教授。19・20世紀のイギリス文学を研究しています。現在の研究課題は労働者階級女性作家の作品をジェンダーの視点から読み解き、女性作家の系譜を再考することです。共著に『めぐりあうテキストたち——ブロンテ文学の遺産と影響』(2019)、共訳に『ブロンテ家の人々』(2006)など。

リカレント連続講演会

「名作をジェンダーの視点で読み直す」開催趣旨

ジェンダー (gender) とは、社会的・文化的・歴史的な性のあり方を示す言葉です。しかし、学校教育のなかでジェンダーという言葉が使われるようになったのは最近のことで、世の中にはこれを単純に男女格差のことだと誤解している人も多く、そもそもそれが文学や歴史、社会を考えることとどう結びつくのかよくわからないという声もあります。

文学が私たちの社会の写し鏡だとしたら、文学作品にはその時代の文化的な性のあり方 (ジェンダー) が色濃くあらわれているはずです。この連続講演会でジェンダーの視点をもって文学を読むことを体験してみませんか？

誰もが知っている名著、教科書に出ていたあの名作でも、ジェンダーの視点で読み直してみると、これまでとは違った印象になります。そして今後の読書の楽しみも倍增するはずです。

他回のご案内 こちらも是非ご参加ください。(1回のみの参加でも可)

- | | | |
|-----|--------------------------|-------------------------|
| 第1回 | 11月22日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室 |
| | シャルル・ペロー『赤ずきん』 | 講師:高岡 尚子氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第2回 | 12月13日(土) 14時30分から16時30分 | 於:奈良女子大学文学系N棟101教室 |
| | ブラム・ストーカー『吸血鬼ドラキュラ』 | 講師:中川 千帆氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第3回 | 1月17日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室 |
| | 夏目 漱石『こころ』 | 講師:吉川 仁子氏(奈良女子大学文学部准教授) |
| 第4回 | 1月24日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 |
| | 樋口 一葉『たけくらべ』 | 講師:笹尾 佳代氏(同志社大学文学部教授) |
| 第6回 | 2月14日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 |
| | ゲーテ『ファウスト』 | 講師:児玉 麻美氏(奈良女子大学文学部准教授) |

会場のご案内

〒630-8589
奈良市北魚屋東町
奈良女子大学
コラボレーションセンター3階

駐車場はございません。
公共交通機関により
お越しください。

